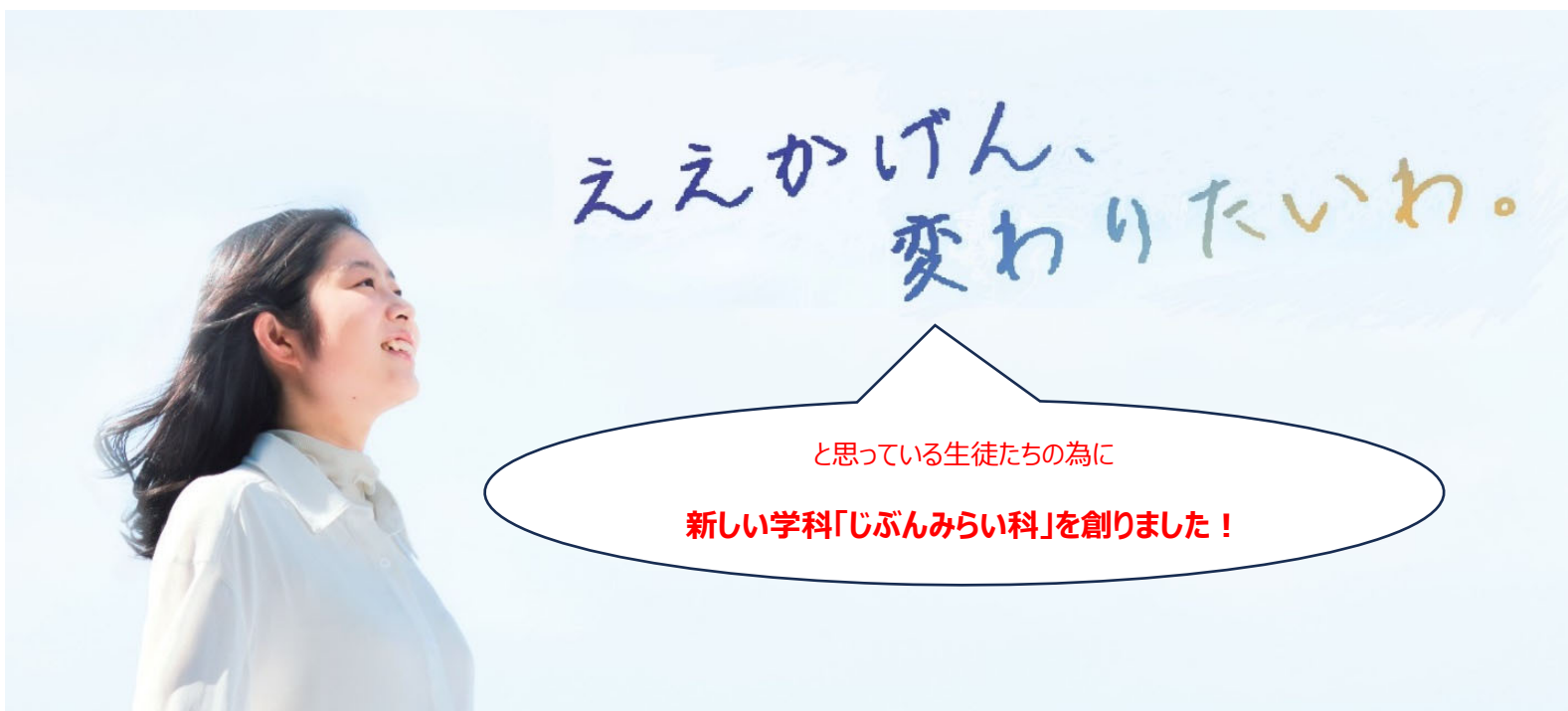


京都芸術大学附属高等学校（通信制課程）
「じぶんみらい科」（2025年4月開設）
常勤講師（2026年4月着任）の募集について



「ええかげん、変わりたいわ。」

この一言は、本校を受験したひとりの生徒が、つぶやいた言葉です。

でも、本当に生徒が変わらなければならないのでしょうか？

本当に変わらなければならないのは、学校の方ではないでしょうか？

学校は、もっと時代に沿って、生徒たちに寄り添って、変化していてもいい筈です。
学校は、「変わりたい」と思っている生徒の為に、「変わらなければならない」のです。

その為に、私たちの高校では、2019年に開設した普通科に加えて、
新しく「**じぶんみらい科**」（2025年4月開設）をつくりました。

今回の求人は、じぶんみらい科の2年目に向けてのものになります。

【本校の特色について】

本校は、校名からわかる通り、芸術大学の附属高校ではありますが、個々の芸術表現の技能や知識の修得ではなく、芸術や表現活動の根本にある考え方を、より多くの生徒に伝えたいと考えています。

その根本にある考え方とは、

「自分を表現すること」「周りのひとを理解すること」

のふたつです。

「自分の考えを相手に伝えながら、相手の考えにも耳を傾け、その違いを互いに認め合う」

芸術の根幹に流れるこの考え方を、これからの社会を担う多くの人に身に着けて欲しいと願っています。

この考えのもと、2019年4月に本校は「**通学タイプ**」「通信制」「普通科」の学校としてスタートしました。開校7年目を迎え、今では生徒数600名を超える生徒が在籍しています。

普通科では、「対話型授業」の導入、「大学連携」による教育など、それまでの通信制高校では見られなかったコンテンツを揃え、開校以来、毎年90%を超える進路決定率を継続しています。（学校のカリキュラム等詳しくは、高校のHPをご覧ください。）

そして今度は、「**オンラインタイプ**」の「**じぶんみらい科**」（普通科以外の普通教育を施す学科）という新しい学科を設立しました。（スクーリングは京都と東京の2会場）

未来をつくる、自分をつくる「じぶんみらい科」の特徴

現代の子供たちは、学校という閉ざされた空間の中で、自分では解決できない同調圧力や、強制される価値観に対して疑問を持ちだしています。そういった環境から、多くの生徒が、**自分の高校生活をどう送るかを自分で考え、自分に合った学校や学び方を自由に選択できるようになる**。そんな時代がすでに到来しています。私たちは、そんな新しい時代の、新しい学校になりたいと思っています。そして、生徒自身が、未来をつくり、自分をつくれるような教育環境を提供したいと思っています。

●「高校の勉強をしっかりとしたい」

通信制高校では、普通科目群（卒業に必要な科目）の学習は、できるだけ短時間で効率的に済ませて、自分の好きな事を学ぶために時間を使おう。という学校が数多くあります。「勉強が嫌い」と思っている（思い込んでいる）生徒たちに、そういった考え方が受け入れられているのも事実です。（結果、通信制高校全体の平均進路決定率は70%程度となっています。）でも、彼らは同時に「**高校の勉強をしっかりとしたい**」という思いを持っています。中学校時代に学校にあまり行けなかった子ども達の多くは、「勉強ができない」「勉強が嫌い」ではなく、本人に起因しない様々な事情で「勉強を受ける機会」「勉強を楽しむチャンス」を失っただけなのではないでしょうか？

不登校生の急増に象徴されているように、多様化の進んだ現在、全員が同じペース、同じレベルで勉強する一斉授業のスタイルは、既に限界がきています。学習には自分にあったスタイルやペースがあります。新しい学科では、そんな生徒たちの声に応えたいと思っています。

- 身近な社会課題を発見し、その解決方法を考える

「じぶんみらい科」の教育目標は、「**身近な社会課題を発見し、その解決方法を考える**」力を身につけることとしています。

普通科目で「他者と協働する為の共通言語」を身につけ、学校設定科目である創造科目で「課題の解決に必要な思考方法（デザイン思考）」を習得し、探究の時間で「課題の解決方法をみんなで考える」ことに取組みます。社会実装を掲げる芸術大学として長年培ってきた**創造教育をベースにしたカリキュラム**となっています。

- 「大学連携」による教育

「じぶんみらい科」では、**課題の解決に必要な思考方法（デザイン思考）**の修得を目的とした創造科目（学校設定科目）を、大学の先生と共同で開発しました。「知る・探る・考える・つくる・伝える」をキーワードとし、大学のマンデープロジェクトというワークショップ型の授業をベースにしています。芸術大学附属ならではの科目となっており、探究科目と表裏一体となっています。

- まるで通学しているようなコミュニケーション

自宅学習には、ひとりで勉強しなければならないイメージがあります。確かにそういった側面はありますが、実はひとりぼっちではありません。自分が勉強している時に、空間は共有していなくても、同時に勉強している友人がどこかにいます。

そこでじぶんみらい科では、「オンライン職員室」「オンライン自習室」など、様々な空間をオンラインで生徒たちに開放しています。自宅で学習をする生徒を「自習室」でつなげ、定期的な「HR」もオンラインで実施します。「オンラインライブ授業」では同じクラスの友人と共に授業を受け、悩みがあれば「職員室」に行って担任に相談する。学校という空間をオンライン上に再現しています。また Slack をコミュニケーションツールとして導入し、**生徒をひとりぼっちにしない環境**を提供しています。

通信制高校で働くってどんな感じ？

通信制高校について、授業時間が少なく、生徒との関りが少ない？というイメージ位でよくわからない。という方もいらっしゃると思います。通信制での探究って？どんな教材をつくればいいの？ライブ授業なんかできるのかな。と不安がたくさんあるかと思います。

じぶんみらい科のHPでは、色々なテーマでブログをのせていますのでご紹介します。

じぶみら先生インタビュー（授業動画あり） <https://blog-shs.kyoto-art.ac.jp/study0008>

ライブ授業の様子 <https://blog-shs.kyoto-art.ac.jp/study0036>

ウェルカムガイダンスの様子 <https://blog-shs.kyoto-art.ac.jp/study0030>

ブログのほとんどは先生方が執筆されていますので、どんな教員と仲間になるのか、感じ取って頂ければと思います。

<高校の概要>

校 種 高等学校

課 程 通信制課程 普通科（週 3 日を基本とする通学タイプ）

じぶんみらい科（オンライン学習を基本とする集中スクーリングタイプ）

教育区域 普通科 京都・滋賀・大阪・兵庫・奈良

じぶんみらい科 全国（スクーリング会場 京都・東京）

所 在 地 京都市左京区北白川上終町 24

開 校 2019 年 4 月 1 日

生 徒 数 635 人（2025 年 5 月 1 日現在）

詳しくは、高校 HP をご覧ください。 <https://shs.kyoto-art.ac.jp/jibumira/>

★東京で働くチャンス！！

じぶんみらい科での集中スクーリング会場は、京都と東京の 2 か所です。2026 年度までは教員の拠点は京都のみですが、2027 年度を目途に東京にも教員の拠点を配置する計画です。東京で働くチャンスがありますので、「東京で働きたい」「将来関東に戻りたい」という希望をお持ちの方も是非ご応募下さい。

【設立母体瓜生山学園について】

学校法人瓜生山学園は、学園創設者である徳山詳直が提唱した“宇宙の万物の調和ある共存をもとに芸術の力で世界平和を実現しよう”という「芸術立国」の理念のもと、他者を思いやる「想像力」と、新たな価値を生み出す「創造力」を育み、その力を社会に役立てることのできる人間の育成をはかり、社会課題の解決と世界の平和に貢献することを使命としています。

この「芸術立国」の理念のもと、教養教育、基礎教育、専門教育の全てを通して「人間力」と「創造力」を育み、特色ある教育手法と社会連携による実践的な学びによって、新たな価値を社会に発信し続けることのできる自立した人間を育成し、設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上に取り組んでいます。



同時に、開設当初より、世代、地域を超えた教育の提供をも目指しており、設立 30 周年を記念して宣言された「芸術立国」の中でも、「新たな 30 年の展望」のひとつとして、「世代を超え、地域を超えた芸術運動を目指す」と記されています。

短大、大学の設立に続き、通信教育部の設立により世代・地域の枠を越え、2019 年には念願であった高校の設立に至りました。現在では全体で 24,000 人を越える在校生を数える学園になりました。それでも、学園の歩みは、まだまだ道半ばです。これからも「学生ファースト」の視点を大切に、世の中の常識にとらわれず、チャレンジし続けていきます。

[沿革]

1977年	京都芸術短期大学 造形芸術学科を設置
1991年	京都造形芸術大学 芸術学部を設置
1996年	大学院 芸術研究科（修士課程）を設置
1998年	芸術学部 通信教育部を設置
2000年	京都造形芸術大学、京都芸術短期大学を統合し、総合芸術大学に再編
2005年	こども芸術大学を開設（付置施設）
2010年	東京外苑キャンパス、大阪サテライトキャンパス開設
2013年	京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校を併設校に
2019年	京都造形芸術大学附属高等学校開校 認可保育園こども芸術大学開園
2020年	京都芸術大学・京都芸術大学附属高等学校に名称変更

詳しくは、大学 HP をご覧ください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

【採用説明会（動画視聴）のご案内】

自分の高校生活をどう送るかを自分で考え、自分に合った学校や学び方を自由に選択できるようになる。「ええかげん、変わりたい」生徒の為には、まず学校が変わらなければいけない。そして、それは先生も変わらなければいけないということだと思います。

そんな思いと、そんな思いから創った「じぶんみらい科」についてお話しします。



- 内 容
- ・学校概要について
 - ・じぶんみらい科の特色について
 - ・求人の概要について

※今年度実施した説明会の録画データをご準備しています。

- 申 込
- ご希望の方は、下記の採用担当 小南宛にご連絡ください。動画の URL をお知らせいたします。
- <採用担当 小南 koukou@office.kyoto-art.ac.jp>

【応募要領】

- 応募職種 教員
- 雇用形態 常勤講師（専任登用制度あり）
- 対象教科 数学
- 職務内容 科目担当（集中スクーリング、映像教材作成、添削、試験等）、クラス担任（又は副担任）、学校設定科目コーディネイト、分掌業務等
- * 変更の範囲：学園の定める業務（高校内での部署異動の可能性あり）
 - * 先生方には教育・生徒指導業務に注力して頂けるように役割分担しながら、教職員全員で新しい学科を創っていきます。
- 勤務地 京都芸術大学附属高等学校（京都市左京区北白川上終町 24）
- * 変更の範囲：その他本校が指定するキャンパス（東京外苑キャンパス等）
（現時点での異動についての希望をエントリーシートにてお聞きしています）
（2027 年以降に、外苑キャンパス（東京都港区）での勤務のチャンスがあります）
- 着任日 2026 年 4 月
- 募集人数 1 名
- 応募資格
- ①大学卒業または、大学院修士課程修了の者
 - ②2026 年 3 月に大学卒業見込み、または大学院修士課程修了見込みの者
 - ③着任時に、該当の教科・科目の高等学校の教員免許所持者
（担当可能な科目については、全てエントリーシートにご記入下さい。）
 - * 本学園では 65 才定年制（65 才の誕生日を迎えた年度末）となっておりますので、着任時 65 才未満の方を対象とさせていただきます。
- 応募方法 下記＜応募書類＞一式を、郵送にてご提出下さい。
- ①教員採用エントリーシート A（本学指定書式）
教員採用エントリーシート B（本学指定書式）
 - * 分掌主任・学年主任等主任等の経験がおありの方はエントリーシート A にてご応募下さい。ご経験がない方は、エントリーシート B にてご応募下さい。
 - なお、エントリーシート A にて応募され、内定となった場合でも、主任等としての着任でない場合もあります。
 - * エントリーシートは京都芸術大学ホームページよりダウンロードして下さい。京都芸術大学 HP 教職員募集 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/recruit/>
 - ②職務経歴書（任意書式、A4 サイズ）
 - ③志望理由書（任意書式、A4 サイズ、1 ページ以内）
「現在中等教育において課題だと思うこと」「本校でチャレンジしてみたいこと」を踏まえて、ご記入下さい。
 - ④教員免許状又は取得見込書（写し）
 - ⑤（2026 年 3 月卒業・修了の場合）卒業（修了）見込書と成績証明書
 - * 職務経歴書、志望理由書には、指定書式は設けていませんが、A4 サイズの用紙でお願い致します。
 - * 応募書類は返却いたしませんので予めご了承下さい。
 - * 応募にあたってご提出頂いた個人情報本学園規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以

外に使用しません。

応募期間 随時（最終締め切り日は2026年3月5日（木）【必着】となります。）

選考方法 ①書類選考

②一次面接

*筆記試験あり

（受験方法については書類選考結果通知の際にお知らせします。）

③二次面接（最終選考）

*面接の際の交通費等の支給はありませんのでご了承ください

応募宛先 〒606-8252

京都市左京区北白川上終町 24

京都芸術大学附属高等学校 採用担当

※封筒の表面に「教員応募書類在中」と朱書きしてください。

【勤務条件／待遇】

☆本校では、常勤講師の待遇は契約期間以外専任教諭と同じです。

給 与	モデル給与 月額	大学新卒	230,580 円
		中途採用 (30 歳)	309,120 円
		(40 歳)	404,670 円

※中途採用の場合、職歴をもとに本校規定により決定致します。

賞 与 年 2 回（6 月、12 月）

理論年収 （入職 2 年目）

大学新卒 2 年目 3,680,640 円

中途採用 (31 歳) 4,924,800 円

(41 歳) 6,337,440 円

※入職 1 年目の 6 月賞与は満額支給ではありませんので、標準考課となった場合の入職 2 年目の理論年収となります。

※これには下記諸手当は含みません。

諸 手 当 住宅手当 15,000 円（但し、世帯主であること）

家族手当 18 歳未満の子／10,000 円

障害等級 1 級、または要介護 3 以上／ 5,000 円

（但し、規程に定める被扶養者であること）

通勤手当 本学規程を基に 6 か月定期代支給

（4 月、10 月支給／限度額：月額 35,000 円）

勤務時間 9：00－17：30

※但し変形労働時間制を採用していますので、時期により変更となります

勤務地 京都市左京区北白川上終町 21 京都芸術大学附属高等学校

* 3年目以降に、京都芸術大学外苑キャンパスでの勤務の可能性もあります。

契約期間	常勤講師 3年を上限とした単年度契約 (更新は契約期間満了時の業務量・勤務成績・態度・能力、学園の経営状況とにより判断)
休日休暇	週休二日 * 休日に学校説明会等学校行事がある場合は振休取得 年次有給休暇 初年次 10日 その他 年末年始休暇、特別有給休暇(慶弔、産前産後等)、育児・介護等 他
社会保険	健康保険・年金は、日本私立学校振興・共済事業団に加入 雇用保険、労災保険 加入
退職金	有り
人事制度	人事考課 報酬については人事考課を反映した給与体系を導入しています。 専任登用 常勤講師の方対象に、本人の適性、能力等を判断し専任登用する制度があります。
備考	受動喫煙対策あり：敷地内禁煙(屋外に喫煙場所設置) 試用期間を3ヶ月とする(試用期間中も待遇は同じです)

問い合わせ先 京都芸術大学附属高等学校 採用担当 小南

e-mail : marutoku@office.kyoto-art.ac.jp

T E L : 075-791-8079 (平日 9:00-17:30)

■ご応募の前に、必ず大学ホームページより、『京都文藝復興』『芸術立国』をご一読下さい

『京都文藝復興』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『芸術立国』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『高校HP』 <https://shs.kyoto-art.ac.jp/jibumira/> (じぶんみらい科)

<https://shs.kyoto-art.ac.jp> (普通科)